

化学物質と環境円卓会議（第3回）議事要旨

1. 開催日時：2002年5月16日（木） 14:00～16:00
2. 開催場所：砂防会館別館1階（東京都千代田区平河町）
3. 出席者：

<学識経験者>

北野 大 淑徳大学国際コミュニケーション学部教授
原科 幸彦 東京工業大学工学部教授

<市民>

有田 芳子 全国消費者団体連絡会事務局
後藤 敏彦 環境監査研究会代表幹事
崎田 裕子 ジャーナリスト、環境カウンセラー
角田 季美枝 バルディーズ研究会運営委員
中下 裕子 ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議事務局長
村田 幸雄 (財)世界自然保護基金ジャパンシニア・オフィサー
山元 重基 日本生活協同組合連合会環境事業推進室長

<産業界>

出光 保夫 日本石鹸洗剤工業会環境保全委員長
河内 哲 日本レスポンシブル・ケア協議会企画運営委員長
瀬田 重敏 (社)日本化学工業協会広報委員長
田中 康夫 日本レスポンシブル・ケア協議会企画運営委員
横山 宏 (社)日本電機工業会地球環境委員会副委員長
小林 珠江 日本チェーンストア協会環境問題小委員会委員

<行政>

岩尾 総一郎 環境省環境保健部長
大森 昭彦 農林水産省大臣官房技術総括審議官
片桐 佳典 神奈川県環境科学センター所長
鶴田 康則 厚生労働省大臣官房審議官
増田 優 経済産業省製造産業局次長
(欠席) 安井 至 東京大学生産技術研究所教授
仲村 巖 (社)日本自動車工業会環境委員会副委員長
司会(事務局) 安達一彦 環境省環境保健部環境安全課長

4. 議事概要

- ・事務局から、橋本さんから横山さんにメンバーの変更があったとの説明がなされた。
- ・今後の進め方について、意見交換が行われた。議論のテーマは、大きく3つに分けられた。
①化学物質の安全管理のあり方（各セクターの役割、人材育成等）、②リスクコミュニケーション（これからどう普及促進するか）、③予防原則・未然防止等の考え方（それぞれがどう理解しているか）。
- ・次回については、第3回化学物質と環境円卓会議の議論を整理し、事務局が案を作成することとした。

[事務局が配布した資料]

資料1 化学物質と環境円卓会議に寄せられた要望・意見（個表）

資料2 化学物質と環境円卓会議に寄せられた要望・意見（類型）

[事務局が配布した参考資料]

参考資料1 「化学物質と環境円卓会議」（リーフレット）

参考資料2 「化学物質と環境円卓会議」の運営要領

参考資料3 化学物質と環境円卓会議第2回議事録

参考資料4 化学物質と環境円卓会議関東地域フォーラム議事録

[円卓会議メンバーが配布した資料]

崎田資料 「化学物質と環境」円卓会議で話し合いたいテーマ案

角田資料 今後の円卓会議で検討するテーマについて

村田資料 化学物質と環境円卓会議で議論すべきテーマについて

化学業界代表メンバー資料

『化学物質と環境 円卓会議』で議論すべきテーマと今後の進め方についての提案